

図書館 ICT 化事業「電子図書館システムの導入、電子書籍の購入」

概算費用 19,305千円

【電子書籍とは】

電子書籍とは、パソコンやスマートフォン、タブレットなどの画面で読むことができるデジタル形式の書籍である。電子書籍の貸出しにあたっては、事業者が提供している「電子図書館サービス」を利用することとなる。

電子図書館システムについては、近隣では、一宮市、小牧市、江南市、稲沢市、各務原市、関市などが導入している。全国的には 591 自治体(33.1%)。

【メリット】

- 来館の手間なく24時間365日いつでもどこでも借りることが可能となり、利用者の利便性が図られる。
- 文字の拡大機能や音声読み上げ機能、多言語電子書籍など電子ならではの対応も可能となる。
- 貸出期間を過ぎると自動的に返却となるため、次に予約をしている利用者に遅延なくスムーズに貸し出すことが可能となる。図書館としても汚破損、紛失の回避ができる。
- 今までは図書館の開館時間に来館することができず資料を借りられなかった利用者でも、図書館の資料を借りることができるようになる。
- 対面での受け渡しの必要がないので、プライバシー保護になる。
- カウンターでの受け渡し作業が削減される。
- 書架のスペースが不要となり、管理コストがかからない。

【デメリット】

- 導入後は、システム利用料とコンテンツ購入費が毎年必要となる。
- デジタル図書は紙の図書と比べて図書のタイトル数が少ない。

【勘案事項】

- 導入するコンテンツの選択及び数量の決定方法。